

(旧)大手前生物部・おもいで野外観察ハイキング

第1回カエルの会・開催記録

◎日時:平成28年7月10日(日)

◎開催地:「こんぴらさん」と屏風岩(琴平)

◎参加者:全7名(敬称略)

(4回生)原田、横田、漆原、(5回生)三原、臼杵、(6回生)香川、(7回生)長峰。

平成28年5月に開催された「東京大手前会」にて、5回生の埋忠さんがつぶやいた。「ずっと昔、和気俊郎先生と蝶や植物採集に行った野山にもう一度行ったみたいなあ」。この話は、当時の生物部の部長であった同席の原田さん(4回生)、吉井さん(1回生)に直ぐ伝えられた。原田さん、「いいねえ、やろうやろう」。吉井さん、手帳を取り出して、「うん、近くに一寸予定が入っているが、7月10日ならいいかも」。これで話は決まった。原田さん、臼杵で原案を纏め、同窓会名簿を活用して、連絡をとりあい、第7回ホームカミングデー(7月9日)に併せて、7月10日、旧生物部員数名が漆原さん(4回生)経営の「こんぴら温泉湯元八千代」に集まった。

1. 和気俊郎先生の墓参:



9:30、和気士緒先生(和気先生のお嬢さん、大手前高松校教頭)のご案内により、原田、漆原(4回生)、三原、臼杵(5回生)、香川(6回生)、長峰(7回生)の6名が玉泉院金林寺(善通寺市木徳町)にて墓参をさせて頂いた。皆さん夫々、昔日のご指導、ご鞭撻に対する厚い御礼と、ご冥福をお祈りしたに違いありません。改めて合掌です。

2. 野外観察ハイキング:



10:30、横田さん、漆原さんを除く5名が、三原さんガイドにより裏参道ルートにて奥の院経由で屏風岩まで野外観察ハイキングにスタート。昔日の思い出ばなしや、蝶や植物についてのうんちくを傾けつつ、ゆっくりと登山。奥の院からは、ぬかるみ、ガレも混じる悪路で、雨に濡れた植物をかき分けての進行となった。目的地の屏風岩周辺は草ぼうぼう、荒れた状態で、昔よりかなり狭く感じられた。登り行程を通じての蝶の数は、曇天の所為か、それほど多くなくアオスジアゲハ、スミナガシ、スジグロチョウ、キチョウ、シジミチョウ等が確認された程度。しかし、未確認ではあるが、屏風岩では、陽が差した一瞬にイシガキチョウらしき蝶の飛翔がかなり観察できた。やはり、

確認の為に捕虫網持参は不可欠か、少なくとも双眼鏡は要る、等と誰もがぼやいた。屏風岩で弁当を食べ、しばし休憩の後、今度は表参道ルートで、すれ違う多くの台湾・中国(?)からの観光客

に驚きつつ下山した。通い慣れた登山ルートではあったが、シルバーエイジには1368段もの階段は少しきついものであった。下山途中、金刀比羅宮宝物館、旧金毘羅大芝居金丸座、金陵の郷等にも足を運び、こんぴら観光をも楽しんだ。「こんぴら温泉湯元八千代」到着は16:00。

3. 夕食会(研究発表・反省会):



「こんぴら温泉湯元八千代」で入浴、汗を流してから夕食会開始。三原さんは、都合で不参加、代わって横田さん、漆原さんが参加、結局6名で美味しい食事に旨い酒、ケロケロ、ワイワイ、ガヤガヤ、参加人数は少ないものの、大盛会となった。夕食会は、発起人会の性格も帯び、この会合において、①会の名前は「カエルの会」(和気先生のニックネームはウシガエル、我々は教え子子ガエル)、②会長は原田さん、事務局(世話役)は臼杵(関東)、長峰(地元)、③次回は美合村の大川山(だいせんざん)、担当幹事は長峰さん、と決まりました。

最後に、本会の開催について、ホームカミングデー(前日)に自室を提供してくれた倉田眉貴子副理事長、また、会合当日、墓参についてご案内頂いた和気士緒先生、さらに、会合について色々便宜を図っていただいた「こんぴら温泉湯元八千代」の女将(4回生漆原さん)に厚く御礼申し上げます。以上、



2016/07/16(臼杵記)